



令和5年産



おいしい“新茶”できました!!

菊池地域では、菊池市、合志市、大津町、菊陽町の山間部と平坦地で地域の特性に合った茶の栽培、製造が行われています。山間部では昼夜の寒暖差で味と香りにすぐれた煎茶を生産。平坦地では大規模な茶園で、旨味と味を引き出す蒸し製玉緑茶が中心に生産されています。

JAの直売所、農産物市場「きくちのまんま」3店舗、大津とれたて市場では、生産者こだわりの新茶が並んでいます。好みの茶葉を見つけてご賞味ください。



菊池地域の茶の繁栄を祈願する「献茶祭」

「八十八夜」の5月2日、令和5年産茶の繁栄と作業の安全を祈る献茶祭を菊池神社で行い、茶部会役員、JA、行政関係者12人が出席しました。大島洋副組合長が「経済連の一番茶初入札会で、管内の生産者が最高価格を獲得した。菊池地域の茶の品質の良さ、おいしさをしっかりPRしていきたい」とあいさつ。茶部会吉良昌芳部会長は「生育も良く、寒暖差により、品質の良い茶葉ができています。しっかり製造し、菊池地域のおいしいお茶を届けたい」と話しました。



大島副組合長

吉良部会長

部会員の茶葉の一部は、荒茶として出荷され最高級茶「湧雅のこちち」や「くまもと茶」として販売されています。

*経済連一番茶初入札では、県内4JAから86点が出品され、指定茶商16社が色や味、香りを確認。1キロ当たりの最高価格を合志市の工藤隆行さん出荷の「さえみどり」が獲得しました。経済連茶生産流通協議会専門部会部会長を務める斉藤敏春さん(菊池市)は「冬の寒さや適度な降雨などで、良質な茶ができています」と話しました。

今後も、菊池地域の品質の高い茶の製造、文化、伝統を守るために経済連、行政関係者と共に努力してまいります。令和5年産のおいしい新茶をゆっくり味わってください。



*一番茶である新茶にはアミノ酸の一種「テアニン」がたっぷり含まれています。テアニンにはストレス軽減効果など、健康で元気に過ごすための効果が期待されています。新茶を飲むと1年間健康でいられると言われるほど、様々な健康効果があります。